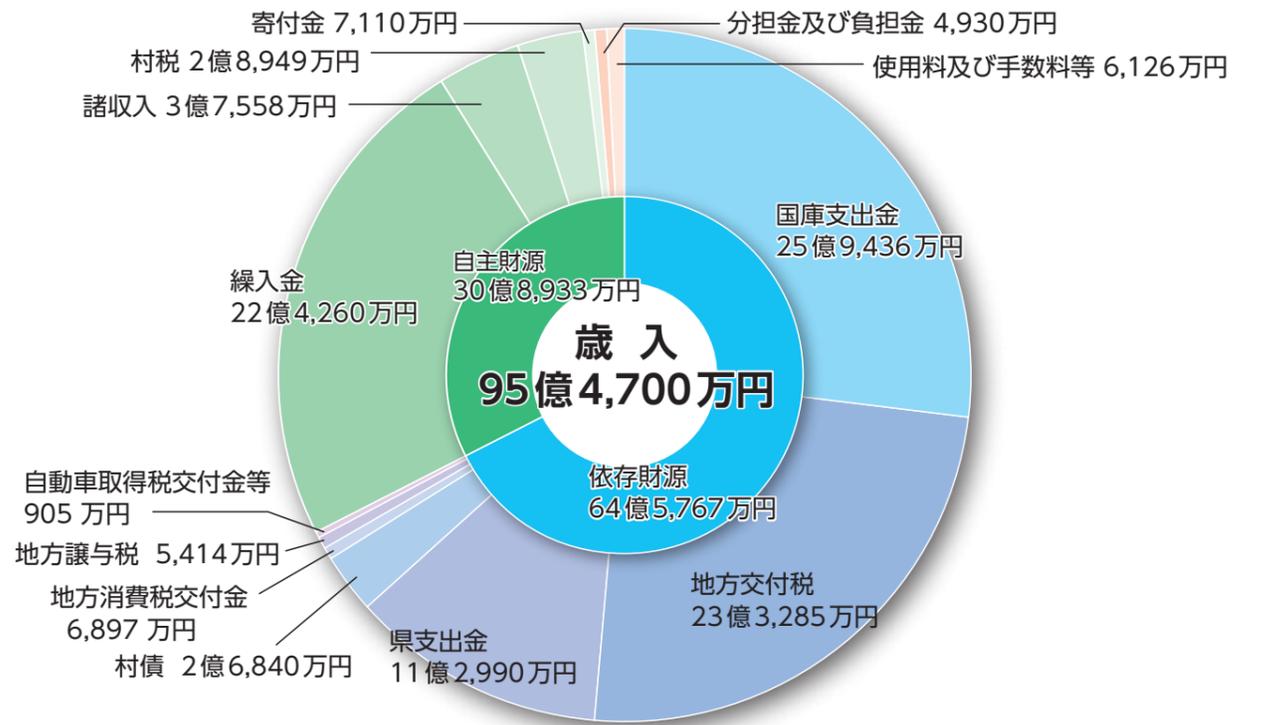
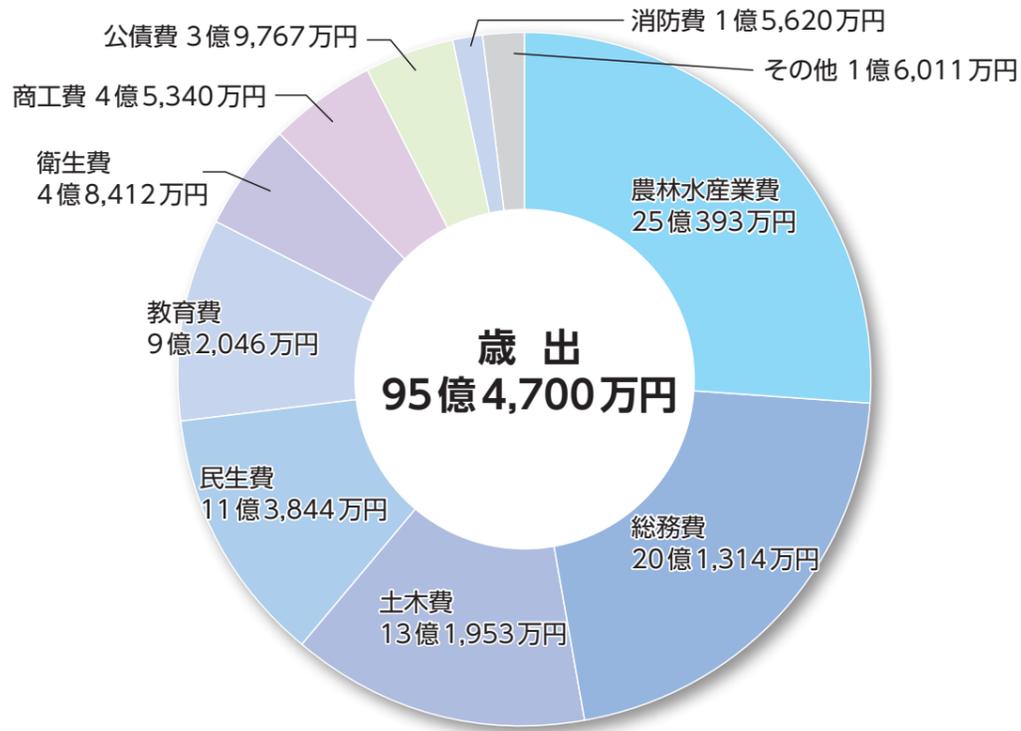


いいたて村発 復興行き「急行 新700」系

当初予算 95億4,700万円

復旧・復興事業費6割



平成30年度一般会計

歳出

平成30年度における村の支出総額

歳出予算総額のうち、震災前にはなかった復旧・復興の対応にかかる事業費は、約58億円。歳出予算総額の約6割を占めています。

当初予算は、引き続き規律ある財政運営堅持を念頭に入れながら、村民が復興を実感できる施策、村外の方も参加できる村づくりを目指して「将来を見据えながら、タイムリ感を逃さず、スピード感を持って復興施策を展開する予算」としたものです。予算配分については、復興計画の5つの基本方針に沿って行っています。

主な事業については12ページをご覧ください。

平成30年度一般会計

歳入

平成30年度における村の収入総額

自主財源 30億8,933万円

30年度に比べ43億4,477万円の減額。これは、国・県支出金を一旦、積み立てて使用する「帰還環境整備交付金基金」や「公共施設等整備基金」や「復興基金」「避難地域復興拠点推進交付金基金」等からの繰入金44億6,580万円が減額となったものです。

依存財源 64億5,767万円

歳入の大半を占める国庫支出金は、25億9,436万円。前年度に比べ45億2,490万円の減額。地方交付税は20億2,705万円の減額となっています。

国民健康保険特別会計	9億7,064万円
簡易水道事業特別会計	1億1,309万円
農業集落排水事業特別会計	3億3,044万円
介護保険特別会計（事業勘定）	10億4,877万円
介護保険特別会計（サービス勘定）	877万円
後期高齢者医療特別会計	7,136万円

平成30年度

特別会計

特定の事業を特定の収入で行うため、一般会計とは分けて設けた会計です

確実な復興へ

平成30年度予算は、移住・定住・交流事業を重点事業として取り組んでいくことと、「農業基盤整備促進事業」等、農業関連の事業により大型の当初予算となりました。

（金額は端数処理をし、万円単位にしています。）

30年度当初予算

平成30年度当初予算は、平成30年第2回村議会定例会で3月19日に可決成立しました。一般会計予算は95億4,700万円、前年度に比べ11億8,800万円減、率にして55.0%の減ですが、当初予算の規模としては昨年にくらぶ大型予算です。

震災前の平成22年度当初予算総額41億4,510万円と比較して、2倍を超えています。